

■第一部 基調講演 (13:30～14:20)

●テーマ「米山を理解していただくために」

－基礎知識とその広報－

講師 財団法人ロータリー米山記念奨学会事務局長
坂下 博康

■第二部 米山奨学生・学友によるスピーチ (14:20～15:20)

「罪」の告白－留学生としてのアイデンティティー

李 松林 (リ ソンリン)

「明日のために－ロータリーと私」

エルウィティガラ・サンギーター

「米山奨学会への感謝」 メリキザット アブラト

謝辞 (財)ロータリー米山記念奨学会理事 中山 義之
お知らせ 司会

■第三部 昭和音楽大学公演 (15:30～16:00)

～音楽は世界の共通語～

紹介 司会

バリトン・バス歌手 三浦 克次 (元国際親善奨学生)

ソプラノ歌手 徐 知善 (米山奨学生)

ピアノ演奏 高橋 裕子 (元国際親善奨学生)

お知らせ 司会

■閉会式 (16:05～16:30)

ガバナー講評 第2590地区ガバナー 亀ヶ谷邦博

寄付金贈呈 (財)ロータリー米山記念奨学会理事 中山 義之

次年度IMホストクラブ指名

第1グループガバナー補佐 鈴木 幹久

次年度IMホストクラブ会長挨拶

川崎南ロータリークラブ 小林 和雄

閉会挨拶 第1グループガバナー補佐 鈴木 幹久

点鐘 第3グループガバナー補佐 鈴木 憲治

お知らせ 司会

■懇親会 (16:50～18:00)

司会 大野 勉

開宴挨拶 第2グループガバナー補佐 石井 弘

乾杯 パストガバナー 斉藤 二郎

アトラクション ナッシュビル・フェローズ

「手に手つないで」 ソングリーダー 平澤兼一郎

閉会の言葉 IM副実行委員長 親松 明

IM開催のことば

川崎麻生ロータリークラブ会長 安藤 優

IM実行委員長 河島 光男

米山奨学事業は、1952年に東京RCの有志によって、日本ロータリーの礎を築いた「米山梅吉」氏の功績を記念し「彼の偉業を永遠に偲ぶことのできる事業をやろう」と構想を立案。1953年から「米山基金」と称し募金を始めました。その目的は、アジア地域から優秀な学徒を日本に招致して、学問・技術を研究させようとするものです。

2年にわたる募金活動の後、1954年にタイから第一号奨学生となる、ソムチャード氏を招聘。1957年に他クラブへの呼びかけを始めたところ、国内全クラブの合同事業として発展し、「ロータリー米山奨学委員会」の設立に至りました。

さらに、1967年7月には「(財)ロータリー米山記念奨学会」と名実共に全国的組織になり、今や1年間の奨学生約800名という日本ロータリーの大きな国際奨学事業になり、今年度は財団設立40周年を迎えました。今までに支援した奨学生数は、累計で109ヵ国から13,902名(2007年4月末現在)を数えます。

*当地区は622名を輩出(2007年4月末現在)

この米山奨学事業に対し、RI理事会(2004年11月)は、奨学生への奨学金の授与を通し「世界理解と平和に貢献されている」と称賛し、日本の全ての地区に係わる「多地区合同奉仕活動」であることを認証しました。

また、麻生区は「しんゆり・芸術のまち」として、日本映画学校が数年前に開校し、2007年4月には昭和音楽大学が開校。そして、2007年10月にはアートセンターがオープンいたしました。

そのような「しんゆり・芸術のまち」で、川崎市全てのロータリークラブが集うインターシティー・ミーティングを開催いたします。

